

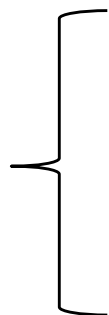


アクティブ・レンジャー（AR）とは？



環境省のレンジャー（自然保護官）は、アメリカの国立公園の「パークレンジャー」にならって、昭和28年(1953年)に12名が各地の国立公園に「現地駐在管理員」として配置されたことに始まります。

開発行為などにより国立公園の自然が破壊されることを防ぐための許可や認可の審査、ビジターセンターや歩道、トイレなどの施設整備やその管理運営、希少な野生動植物の保護や外来生物の防除など、自然を守り活用するため多様な業務を多くの人たちと協力して行っています。



アクティブ・レンジャーはレンジャーを補佐し、**国立公園や鳥獣保護区内のパトロールや調査、地域関係者との連絡調整など、野外業務**を主としています。

アクティブ・レンジャーの業務内容は配属地によりさまざまですが、私たち12人の共通点は「**美しい自然や野生動植物を守りたい**」ということ。

この写真展は、北海道の美しい自然の魅力を発信すると共に、私たちの活動を知ってもらい、自然環境保全の理解と関心を深めることを目的に企画しました。

お時間の許す限り、どうぞゆっくりとご覧ください。

